

OMU

大阪公立大学人権問題研究センター

RCHR

第199回サロンde人権

9月16日（水）
午後2時～4時

話題提供：金澤 真理 氏

（大阪公立大学人権問題研究センター所長/大阪公立大学法学研究科教授）

大阪公立大学
人権問題研究センター共同研究室
定員 対面 10名
オンライン 100名
事前申込・先着順

参加希望者は人権問題研究センターのホームページお問い合わせフォームより
前日正午までにご連絡ください。

（<https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/contact/>）

定員に達し次第締め切りとさせていただきます

お問い合わせはセンターまで <https://www.omu.ac.jp/orp/rchr/>

刑事施設被収容者の
外部交通の権利

刑事施設に収容される自由刑受刑者の施設外の者との文書のやりとりや面会は、著しく制限されています。しかし、外部世界との交流制限も刑の内容であるのかは明らかではありません。

明治時代以来の監獄法の改正の際、受刑者の社会復帰にとって外部社会との交流の重要性が指摘されています。刑法改正により拘禁刑が導入された現在、刑事施設に拘置される者や外部から連絡をとろうとする者の人権の観点から外部交通の重要性を考えます。

無 料